

GビズIDの令和8年度の機能改善について

令和8年4月24日 デジタル庁

令和8年度（2026年度）のGビズIDの主な機能更改について

令和8年度（2026年度）も引き続きGビズIDは機能更改を行います。
特に連携先サービス様にも関連の高いものを下記の通り一覧としております。
これからもより安心して使えるサービスとして改善を続けてまいります。
※機能の詳細は「参考：GビズID機能更改」のページをご参照ください。

項目名	機能概要	予定時期
商業登記電子証明書の リモート署名対応	GビズIDを利用した商業登記電子証明書のリモート署名機能が リリースされます。	7月
アカウント有効期限の導入	GビズIDプライム・メンバーアカウントの有効期限が「2年3ヶ 月」として設定されます。 ※バッファ期間を設けるため、期限切れは令和10年度から	7月
LGWAN対応	地方公共団体職員の方向けに、GビズIDのログイン機能について LGWAN対応を行います。 ※連携先サービス側でもLGWAN環境利用ができることが前提です	9月
フィッシング耐性のある認証機 能の追加（パスキー認証）	フィッシング耐性のある認証機能としてパスキー認証を新たに 認証方式に追加します。 利用者は既存の認証方式に加えて、パスキー認証を選択できる ようになります。	12月 (仮)
アカウント承継情報の連携機能	法人代表者の交代でGビズIDプライムの承継を行った際に、誰が 誰に引き継いだのかの情報を連携できるようにします。	12月 (仮)

令和8年度（2026年度）に連携先サービス様が利用可能なGビズIDオプション機能のご紹介

項目名	機能概要
審査情報	<p>GビズIDプライム・GビズIDメンバーがアカウント発行・更新した確認日時や手法の情報を連携します。</p> <p>例えば、3か月以内の身元確認情報を求める場合、審査情報を確認し3ヶ月より以前の情報であれば、GビズIDで再度身元確認を求めることなども可能です。</p>
組織情報	<p>GビズIDプライム・GビズIDメンバーが指定している組織情報やメンバーの権限情報を連携します。</p> <p>同じ組織に属するメンバーに引継ぎや情報共有を許可したり、重要な手続きには第一管理者権限を持ったメンバーのみが操作可能であるなどの制限が可能になります。</p>
委任情報	<p>GビズIDにて委任関係を受任した代理申請者がログインした際に、代理申請者が行う代理申請手続きの詳細（委任元情報、委任された手続等）の情報を受け取ることができます。</p> <p>GビズIDの委任機能を利用することで低コストで代理申請機能を実装可能です。</p>
委任区分情報 ※追加API	<p>サービス内の個別手続をGビズIDに事前にAPI連携していただくことで、利用者が個別手続単位で委任関係を結ぶことが可能になります。</p>

※機能の詳細や申請方法は「参考：GビズIDオプション機能」のページをご参照ください。

【お知らせ】GビズIDアカウントの書類申請発行の運用変更について

GビズIDでは、2024年度よりアカウント発行には「オンライン申請」と「書類申請」の2種を提供してまいりました。令和7年度（2025年度）には、オンライン申請が書類申請を上回り、多くの方にオンライン申請を活用いただいております。つきましては、GビズIDの運用体制の見直しのため、書類申請の運用方法について変更いたします。

■ 書類申請の運用変更

- ・書類審査期間を**最大2週間→最大1か月**と変更します
- ・書類申請時に不備があった場合の書類（印鑑証明書、印鑑登録証明書、申請書等）の**返送を取りやめます**

■ スケジュール

- ・5月中旬にTOPページサイトでのお知らせ & 各サービス担当者様へご連絡
- ・5月下旬～6月下旬にかけて、利用者へメール等でお知らせ
- ・**7月上旬に運用変更**

■ お願い

- ・**GビズIDの発行期間や不備返送に明記がある広報資料がある場合は、修正または削除をお願いいたします**

※特にオンライン発行であれば最短即日発行可能なことをご記載ください

※オンライン申請は24h/365日審査が可能になります（同7月上旬より）

【ご参考】

GビズIDでは、各省庁様がGビズIDの取得促進に利用いただけるようなバナー、チラシ（PDF）を配布しております。

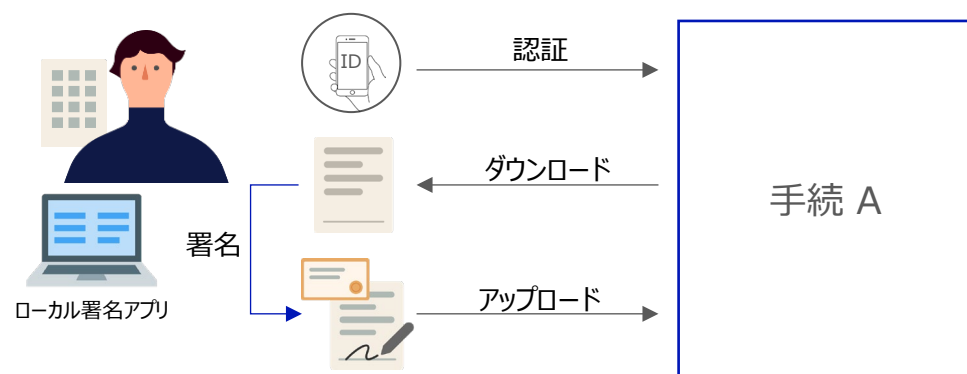
GビズIDサービスデスク（GビズID行政サービス用窓口）から適宜ダウンロードしてご活用ください。

※GビズIDサービスデスクTOP> ナレッジベースTOP> [3. GビズID ロゴ等の説明素材一覧のご案内](#)

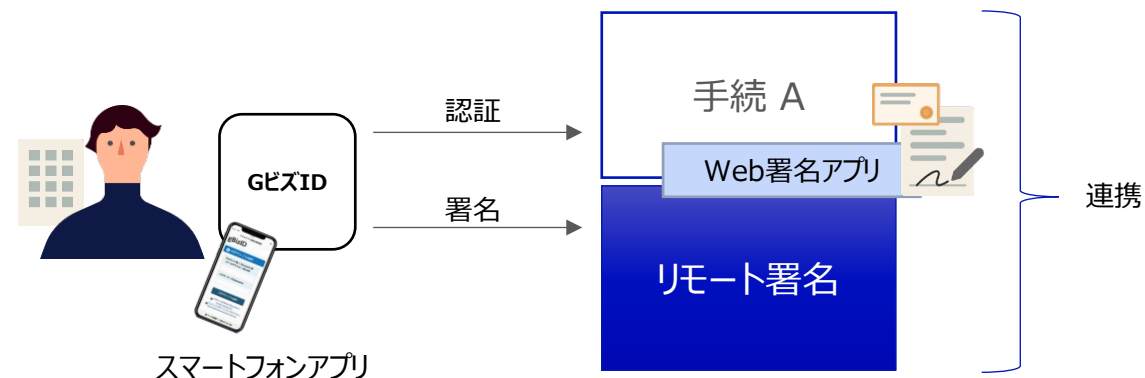


- 2026年7月(予定) から、商業登記電子証明書はリモート署名方式を導入。GビズIDアプリと連携した電子署名が可能に。
- 現在、リモート署名の実現に向け、法務省と連携してシステムの設計や開発を進めているところ。

現行の商業登記電子証明書 ローカル署名



新商業登記電子証明書（2026年7月を予定） リモート署名



1 GビズIDを利用して電子署名（商業登記電子証明書）ができる

これまでは利用者が端末上に署名アプリを用意する必要があったが、リモート署名によりオンラインで直接署名ができる

2 GビズID連携による2要素認証を利用した署名認可によりセキュリティにも配慮

ID/Passwordに加えて、スマホ上のアプリによる端末認証を通じて、安全に電子署名できる環境を実現

GビズIDアカウントの有効期限の導入（令和8年7月から導入予定）

- GビズIDにおける認証情報の継続的な信頼性確保を図るため、一定期間ごとにアカウントの本人確認を行う「有効期限機能」を導入予定（2026年7月～）。
- 当該機能の導入以降は、利用者は**2年3か月**以内にマイナンバーカード等を用いた本人確認（アカウント発行申請時と同様）を受ける必要がある。本人確認が完了しない場合、**行政サービスへのログインなどが制限される。**
- **2028年10月以降に有効期限切れ利用者が発生する。**

アカウントの種別と有効期限

	有効期限の設定有無	有効期限の更新方法	有効期間
GビズIDプライム	○	法人代表者や個人事業主への本人確認	2年3か月間（＊）
GビズIDメンバー	○	GビズIDプライムや管理者の承認	2年3か月間（＊）
GビズIDエントリー	—	—	—

有効期限が切れた場合

有効期限が切れると、以下の操作ができなくなります。

- ・行政サービスへのログイン
- ・GビズIDメンバーの作成
- ・委任・受任申請
- ・管理者権限の付与申請 など

※紐づくGビズIDメンバーが有効期限内であっても有効期限が切れた場合と同様の制限があります。

※有効期限が切れた後もGビズIDマイページ上で有効期限の更新を行います。

有効期限の確認方法

有効期限の導入日以降、GビズIDマイページ上で有効期限を確認できます。また、有効期限が近づくと、メールや行政サービスへのログイン時の画面でお知らせがあります。

＊アカウント発行日によって有効期間の起算日が異なります。

有効期限の導入日以前に発行されたアカウント：有効期限の導入日より2年3か月間（2028年10月ごろまで）有効

有効期限の導入日以降に発行されたアカウント：アカウント発行日より2年3か月間有効

更新手続き後はGビズIDプライム・メンバーいずれも更新完了の通知が届いた日を起算日とし、2年3か月間有効です。

例 2030年4月1日に有効期限を迎えるアカウントで、2030年3月25日に有効期限の更新手続きが完了した場合、更新後のアカウント有効期限は2032年6月25日です

LGWAN環境下でのログイン機能提供（令和8年度9月以降）

- 地方自治体においてもGビズIDの利用ニーズがあり、**原課の管理職以上を対象**に随時プライムの発行を行い、**9割近い自治体**がプライムを取得している。
- GビズIDを利用する地方公共団体職員向けにLGWAN環境下において、LGWAN環境向けの行政サービスに接続できるようなログイン機能を提供する

既存のサービス提供



インターネット環境での利用者
(事業者等通常利用者)

GビズID

ログイン / Login Internet

アカウントID / Account ID (メールアドレス / Email)

パスワード / Password

ログイン / Login

インターネット環境下の
行政サービス

新規対応部分



LGWAN環境での利用者
(地方公共団体職員)

GビズID

ログイン / Login LGWAN

アカウントID / Account ID (メールアドレス / Email)

パスワード / Password

ログイン / Login

LGWAN環境下の
行政サービス
(地方公共団体職員向け)

(参考) 地方公共団体職員アカウント発行状況

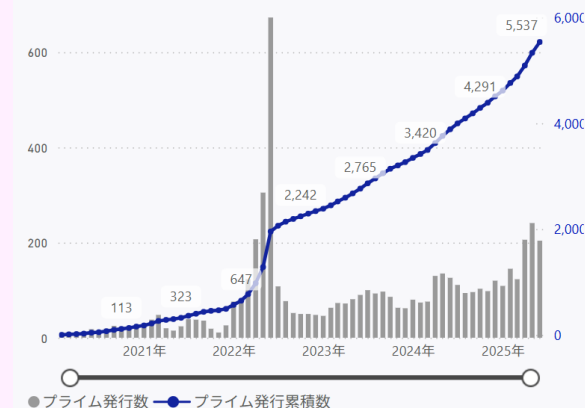
取得率：90% (1,613 / 1,788)

※うち8.4割は直近1年間で利用実績あり

アカウント数：プライム6,259件、メンバー2,997件

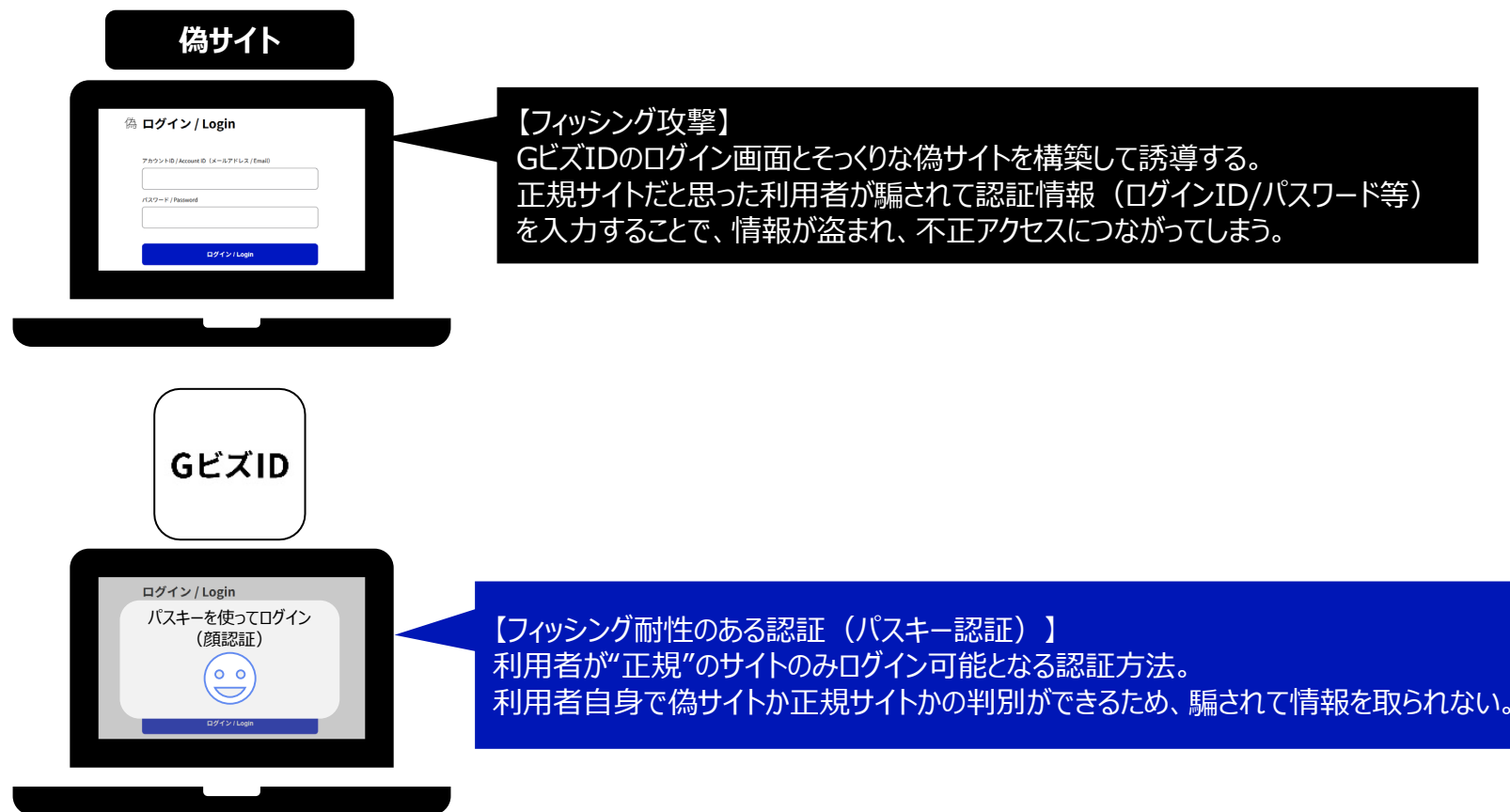
総ログイン数：22.4万回（約900回/営業日）

プライム発行数推移



2022年6月頃、
ドローン機体情報登録の
義務化に伴い発行数が急増

- デジタル庁の公開する本人確認ガイドラインでは、希望する利用者が**フィッシング（偽サイト）耐性を持つ認証手法**を利用できることを行政サービスの一般的な認証レベルとして求めている。
- 共通認証基盤としてGビズIDが対応することで、GビズIDに接続する行政サービスは本レベルを満たすことができるようになる。
- フィッシング耐性を持つ認証として一般的であるパスキー認証の実装を想定している



イ 本人認証保証レベルの対策基準
本人認証における各保証レベルの対策基準は下表のとおりとする。

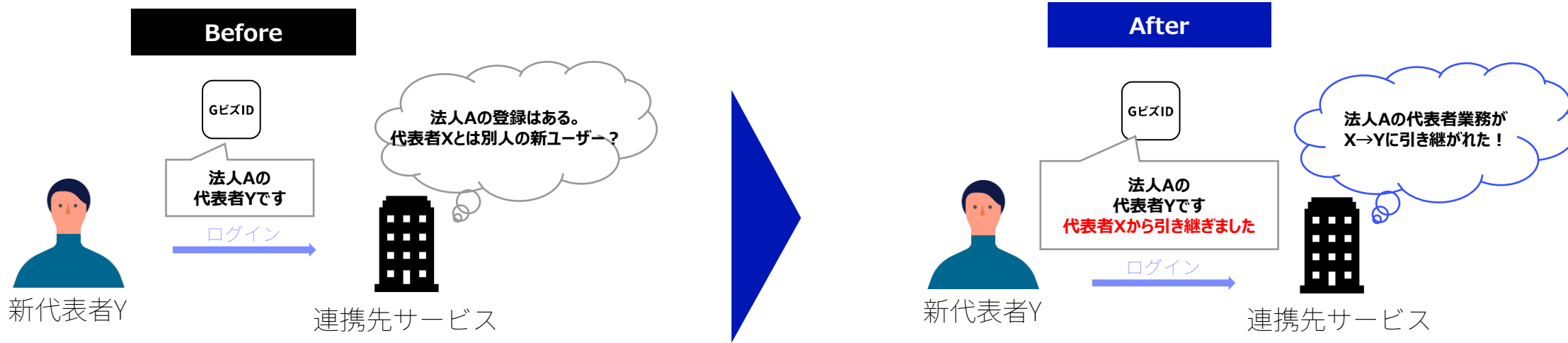
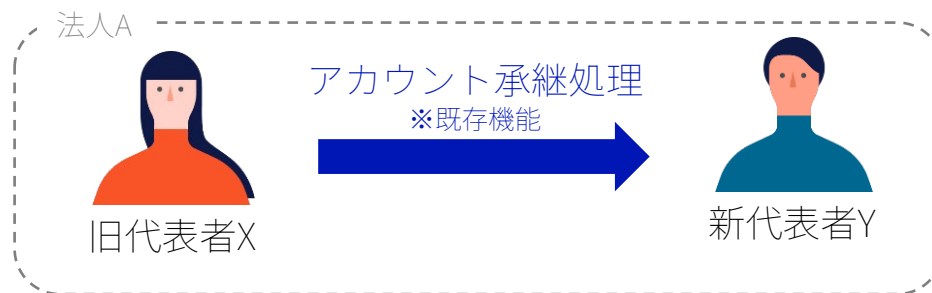
表 3-10 本人認証保証レベルの対策基準

本人認証保証レベル	対策基準
レベル 3	多要素認証であること。 うち一要素は「公開鍵認証」であること。 以下の全ての脅威耐性を備えること。 <ul style="list-style-type: none"> ・ フィッシング攻撃への耐性（全ての利用者） ・ レベル 2 で求められる脅威耐性
レベル 2	多要素認証であること。 以下の全ての脅威耐性を備えること。 <ul style="list-style-type: none"> ・ フィッシング攻撃への耐性（希望する利用者（※）） ・ 暗号鍵の不正な取り出し・複製への耐性（公開鍵認証を用いる場合） ・ レベル 1 で求められる脅威への耐性
レベル 1	単要素認証又は多要素認証であること。 以下の全ての脅威耐性を備えること。 <ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン上でのパスワードの推測への耐性 ・ 盗聴・リプレイ攻撃への耐性

※ 希望する利用者が、フィッシング耐性をもつ認証手法を選択的に利用できることを指す。

（参考）本人確認ガイドライン改訂版

- 法人代表者が交代した際に、新代表者にアカウントを引き継ぐ「アカウント承継機能」は現在も運用されている。
- しかしながらアカウント承継を行った後の新代表者ログインでは承継情報は連携されないため、連携先サービスでは新代表者が旧代表者の業務を引き継いだことを確認できなかった。
- 令和8年度にGビズID連携情報に「アカウント承継情報」を追加することで、連携先サービスで引継ぎ有無を確認できるようにする。



審査情報の共有：アカウント発行・更新した確認日時や手法の情報を連携します。



GビズID

〇〇株式会社
プライムアカウント
(2025/08/01身元確認済み)

既存情報	アカウント情報、法人情報、法人代表者情報、利用者情報
審査情報	YYYYMMDDにアカウント発行、審査完了済みなど

一定期間内に身元確認された根拠が必要な手続きの参考にすることが可能に
(例) 3か月以内の身元確認など



連携先
サービス

組織情報の共有：組織情報やメンバーの権限情報を連携します。

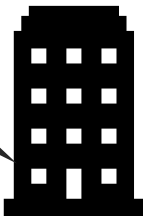


GビズID

〇〇株式会社
△△事業所
事業所長
メンバーアカウント

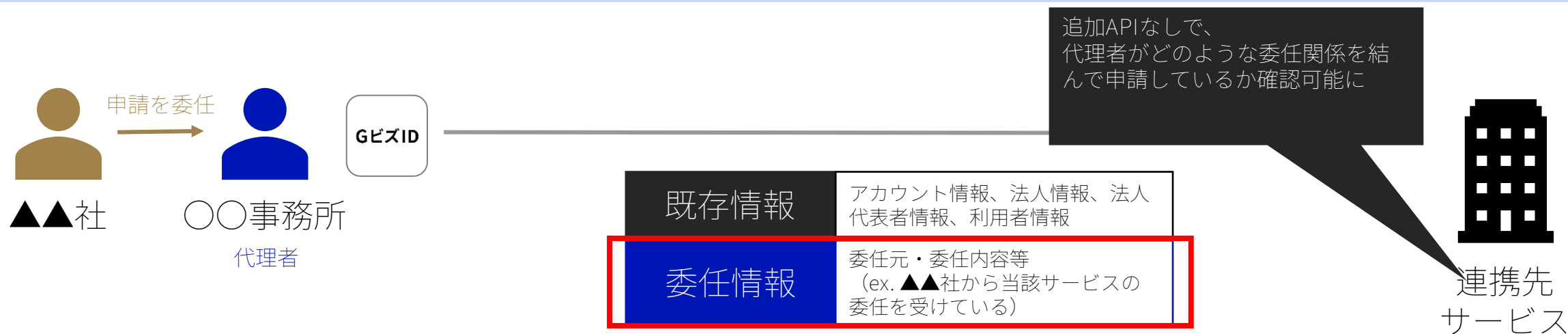
既存情報	アカウント情報、法人情報、法人代表者情報、利用者情報
組織情報	事業所名や権限 (ex. △△事業所、管理者)

事業所別の申請や、アカウント権限による細かい権限わけなどが可能に

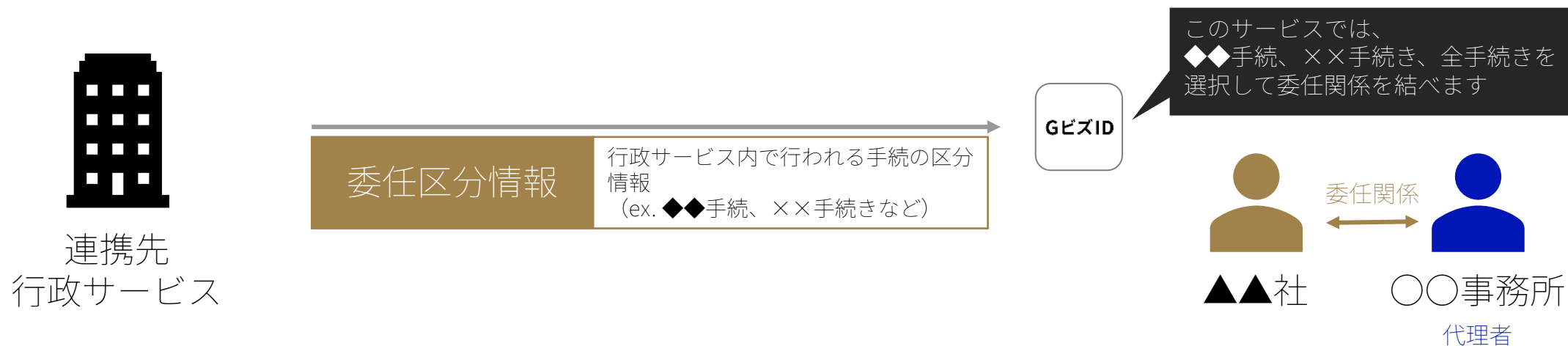


連携先
サービス

委任情報の共有：委任関係を受任した代理申請者がログインした際に、代理申請者が行う代理申請手続きの詳細（委任先情報、委任された手続等）の情報を受け取ることができます



委任区分情報の設定：委任者・受任者が委任関係を結ぶ単位をAPIを使って行政サービス側で指定が可能です



既に利用可能なオプション機能の詳細（API設計等） についてはGビズIDトップページから確認可能です

オプション機能申し込みは、 GビズIDサービスデスク（GビズID行政サービス用窓口） よりお願いします。

Home > システム連携ガイド (行政サービス向け)

- ご利用ガイド
- システム連携ガイド (行政サービス向け)

①TOPページよりメニュー>手続きガイド>システム連携ガイドを選択

システム連携ガイド (行政サービス向け)

本ページはGビズIDとOpenID Connectによりシステム連携したい行政サービス担当者向けにドキュメントを提供するページです。個人事業主・法人の代表者・社員がGビズIDプライム、GビズIDメンバー、GビズIDエントリーを作成したい場合、本ページは対象外です。 [GビズIDを作成する](#)でアカウントを作成してください。

新たにGビズIDと行政サービスの連携を希望される方へ

① 2024年10月31日より、GビズIDのサービス連携利用申請や問い合わせは、GビズIDサービスデスク(Jira)で実施できるようになりました。申請フローも変更となりましたので、変更内容を「[GビズIDサービスデスク\(Jira\)導入後の申請フロー](#)」に記載しています。

※Jiraとは申請や問い合わせ窓口を一元化できる管理ツールです。

GビズIDは、一つのIDで様々な行政手続システムにログインすることができる共通認証サービスです。行政サービスのログインをGビズIDにより実現されたい場合は、GビズIDとOpenID Connectによるシステム連携を行うことで連携が可能です。

GビズIDと行政サービスの連携を検討されている方は、まずGビズIDサービス連携利用規約とGビズID連携システム向けガイドラインをご確認ください。

- GビズIDサービス連携利用規約
- GビズID接続システム向けガイドライン**
- 法人共通認証基盤におけるトラストフレームワーク

②GビズID接続システム向けガイドラインを選択

GビズID 作成をご希望の方へ
本ガイドラインは行政サービス担当者向けのガイドラインであり、GビズID アカウント作成に関するマニュアルではございません。法人・個人事業主の方がGビズIDを作成されたい場合は、[GビズID | ご利用ガイド \(gbiz-id.go.jp\)](#)をご覧ください。

GビズID 接続システム向けガイドライン

GビズID

③接続システム向けガイドラインにて内容を確認します

GビズIDサービスデスクからのお知らせ

2026/3/27 令和7年度改修に伴う委任機能の利用申請受付を開始しました。利用申請の方法は [RP設定申込フォームの操作方法](#) よりご確認をお願いします。

2026/3/12 令和7年度GビズID開発に伴う機能改修詳細およびドキュメント改訂案のご案内 (3/12更新) [詳細はこちら](#)

2026/2/10 GビズIDメンテナンス周知および機能変更・改善のご案内 (検証環境 2026/2/17 停止あり) [詳細はこちら](#)

2025/12/23 GビズID認証基盤刷新に伴う先行検証の受付開始のご案内 [詳細はこちら](#)

2025/12/10 GビズID認証基盤刷新に伴う証明書変更事前検証のご案内 [詳細はこちら](#)

[全お知らせはこちら](#)

ヘルプセンター / [GビズIDサービスデスク](#)

GビズIDサービスデスク

本サイトは、GビズIDとシステム連携をご希望される行政サービス担当者様向けの申請用サイトです。申請やお問い合わせについては、本ページ下部の各種フォームより該当する手続きの実施をお願いします。

初めてGビズIDとシステム連携申請される場合は、サービス連携申請から実施いただく必要がございます。申請の流れに関しては [システム連携ガイド](#) のページも併せてご参照ください。

GビズIDサービスデスク (Jira) の利用方法やお役立ち情報等は [ナレッジベース](#) もご参照ください。

お問い合わせ内容

- 新規申請 (初めてGビズIDをご利用される方向け)**
 - ①サービス連携申請, ②RP設定申込
- 変更申請 (過去にGビズIDとシステム連携済み、登録情報を変更される方向け) ※新規申請時は利用しないフォームとなります**
 - ③RP変更依頼
- お問い合わせ**
 - 担当者追加・変更依頼, 申請関連のお問い合わせ, Jira操作関連のお問い合わせ, 検証用GビズIDアプリのご利用依頼, その他のお問い合わせ
- アプリ認可の申請**
 - ①サービス連携申請 (アプリ認可用), ②RP設定申込 (アプリ認可用), ③RP変更申請 (アプリ認可用), ④GビズIDアプリのご利用依頼 (アプリ認可用)

オプション機能を追加したい場合は、変更申請をお願いします

デジタル庁
Digital Agency